

科目名	(D) 国際関係論研究	担当者	永野 隆行
開講期	通年	単位数	4 単位
【概 要】	【授業計画】		
国際関係論専攻の受講生の研究テーマに沿って授業内容を最終的に決定することとしたいが、国際関係論専攻の大学院生として最低限必要な戦後国際政治史についての理解を深めるために、文献をできるだけたくさん読んでいく。	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 戦後国際政治史について① 3. 戦後国際政治史について② 4. 戦後国際政治史について③ 5. 戦後国際政治史について④ 6. 戦後国際政治史について⑤ 7. 戦後国際政治史について⑥ 8. 戦後国際政治史について⑦ 9. 戦後国際政治史について⑧ 10. 戦後国際政治史について⑨ 11. 戦後国際政治史について⑩ 12. 戦後国際政治史について⑪ 13. 戦後国際政治史について⑫ 14. 前半のまとめ 15. 後半のイントロダクション 16. 戦後国際政治史と研究テーマについて① 17. 戦後国際政治史と研究テーマについて② 18. 戦後国際政治史と研究テーマについて③ 19. 戦後国際政治史と研究テーマについて④ 20. 戦後国際政治史と研究テーマについて⑤ 21. 戦後国際政治史と研究テーマについて⑥ 22. 戦後国際政治史と研究テーマについて⑦ 23. 戦後国際政治史と研究テーマについて⑧ 24. 戦後国際政治史と研究テーマについて⑨ 25. 戦後国際政治史と研究テーマについて⑩ 26. 研究テーマについての報告と討論① 27. 研究テーマについての報告と討論② 28. まとめ 		
【到達目標】	【事前・事後学修の内容】		
国際関係論に関する文献を読み、より高度な議論ができるようにする。	指定文献を読んでもくるのはもちろんのこと、授業時に簡単な内容紹介と評価をできるように準備しておくこと。事後については、指定文献の要約と批評、授業内容を A4 用紙 2 枚程度にまとめ、提出すること。		
【テキスト・参考文献】	【評価方法】		
最終的には受講者の研究テーマにあわせて決定する。	課題への取り組み姿勢と成果 50% レポート 50%		